

様式1 (自己評価及び学校関係者評価)

## 令和3年度 自己評価結果 及び 学校関係者評価結果報告書

船橋市立習志野台中学校

校長 窪田 勝秀

学校教育目標

「立志」「自立」～志を立て、夢に向かって自ら努力する生徒の育成～

## ＜学校関係者評価委員会等の構成員＞

※該当する欄すべてに人数を記入してください。(「その他」の欄には具体的に記述してください) ※保護者アンケートは自己評価なので含めません。

	保護者	地域住民 (保護者除く)	青少年健全育成 関係団体の関係者	接続する学校の 教職員	その他	合計
学校評議員	2人	6人	1人			
学校評議員以外						

## ＜公表の方法＞

※該当する欄すべてに○印をつけてください。(「その他」の欄には具体的に記述してください) ※保護者に広く周知する形にしてください。

	学校だより	学校のホームページ	その他
自己評価	○	○	
学校関係者評価	○	○	

## ＜学校評価に基づく学校運営への改善＞

※前年度の学校評価に基づく今年度の学校運営の改善について、該当するところに○印をつけ、その理由を成果と課題の両面からお答えください。

よく改善できた	まあまあ改善できた	あまり改善できなかった	ほとんど改善できなかった
	○		
〈理由〉昨年度課題にあった主体的・対話的な学習方法やその評価方法については、講師を招聘するなどして研修を深めることができた。一方で、「主体的に学習に取り組む態度」の評価材料について、さらに研修を進めていくという課題が残った。			

分野	重点目標	評価項目	達成・取り組み状況の評価	自己評価結果の考察に基づく今後の改善方策	学校関係者評価及び意見	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学ぶ生徒の育成と基礎学力の育成を図る学習指導。</li> <li>・心の通う生徒指導と生活指導の徹底。</li> <li>・実践することで学ぶ特別活動。</li> <li>・思いやりの心と実践力を育てる道徳、人権教育。</li> <li>・健康、体力の増進と安全教育の徹底。</li> <li>・教育環境の整備と充実。</li> <li>・家庭、地域との連携の重視と特色ある学校作り</li> <li>・特別支援教育の充実を支える学校体制をつくる。</li> <li>・学校図書館の積極的な活用。</li> <li>・教職員の育成及び指導力の向上。</li> </ul>	<p>1 学校教育目標(「立志」「自立」～志を立て、夢に向かって自ら努力する生徒の育成～)の具現化に向け、「目指す生徒像」(自学・挨拶・掃除・時間)に迫ることができた。</p>	<p>職員の評価は「A(良い)」と「B(やや良い)」を合わせる(以下「肯定的な評価」と言う。)と88%に達したが、昨年度と比較すると2ポイント上昇している。コロナ禍とはいえ「目指す生徒像」に掲げているので、掃除はもう少し行いたいなどの意見があった。</p>	<p>・保護者への「学校は教育目標や目指す生徒像を分かりやすく伝えている」という問に対する肯定的評価は86%、「学校の教育活動は、保護者の期待や願いにそっている」という問に対する肯定的評価は85%を示している。この数値から、本校の教育活動は、多くの保護者から理解を得ていると思われる。さらに、生徒の自主性を育てるために、職員がもっと話せる雰囲気を作り、指導目的の再確認や指導方法の共通理解を図りたい。掃除の時間はなるべく確保していきたい。</p>	<p>○目標を全員で共有することが大事。納得するまで話し合う。下からの意見が通り、チームで動くことが大切。 ○今年度もコロナ禍の状況で先生方のご指導ありがとうございます。「目指す生徒像」として掃除の実施が入っていたことは良かったと思います。しかし、時間調整で掃除時間がカットされたのは残念でした。 ○目指す生徒像、目指す学校像、目指す教職員像すべてにおいて考えを出し合い、話し合える関係であってほしい。その上で目標に近づくことを希望します。 ○志を立て自立した生徒像を生徒自身は具体的に描いていないのではないか。具体的に描かれた目標を達成するために努力し、生徒に現れた変化で、結果を判断してはどうか。</p>	<p>○学校教育目標の具現化に向けて、今後もさらなる研鑽を積んで、全教職員が意識して取り組めるようにしていきたい。 ○コロナ禍ではあるが、「目指す生徒像」実現のため具体的な手立てについて共通理解のもと進めていきたい。また、清掃活動についてもコロナ禍でできることを確認し、生徒指導部や管理部を中心に「目指す生徒像」や具体的な手立てを見直していきたい。</p>
		<p>2 学校教育目標(「立志」「自立」～志を立て、夢に向かって自ら努力する生徒の育成～)の具現化に向け、「目指す学校像」(学ぶ意欲・正義・安全・応じた支援・信頼)に迫ることができた。</p>	<p>職員の肯定的な評価は91%である。この項目は昨年度より2ポイント下げているが、制約が多い中で概ね達成することができた。</p>			
		<p>3 学校教育目標(「立志」「自立」～志を立て、夢に向かって自ら努力する生徒の育成～)の具現化に向け、「目指す教職員像」(真のチーム・労苦を分かち・わかる授業・地域)に迫ることができた。</p>	<p>職員の肯定的な評価は86%で、昨年度より4ポイント上昇している。一部、共通理解に課題があったとの意見があったが、概ね良好であった。</p>			

分野	重点目標	評価項目	達成・取り組み状況の評価	自己評価結果や考察に基づく今後の改善方策	学校関係者評価及び意見	自己評価結果と学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策
学校経営・組織運営	<p>・全職員の共通理解と実践を基として、学校教育目標達成のために創意ある学校運営と時代の要請にふさわしい学校づくりを目指す。</p>	<p>4 学校教育目標は、学校・生徒・地域の実態に即していた。</p>	<p>職員の95%が肯定的な評価をしている。昨年度より3ポイント下がっているが、高い評価と言ってよい。コロナ禍で地域との連携が難しかった。</p>	<p>・校務分掌組織の形態は本校の実情に即した機能的なものであったが、若年層の育成とともにミドルリーダーの育成も急務である。また、代替教員が来ず、負担が増えるなか協力して取り組めた。一方で、勤務時間が長くなり、働き方改革については課題が残った。</p>	<p>○先生同士の簡単な確認の時間が無くて情報不足、連携不足が生じたようでした。朝の3分間ミーティングが出来たら良かったのではと感じます。 ○教職員の連携がとれていないことが気になります。提案や相談が却下されることのない連携を築いてほしいと思います。 ○コメントからは、決められた組織構成の中での先生方間の連絡の不足がうかがえる。 ○前年度より先生方の雰囲気は格段に良くなりましたと感じていますが、教職員からの意見ではなかなか厳しい意見も見られました。入れ替わりのある職場環境の中で、チームワークを育むのはそう簡単ではないと思うので大変かと思いますが、先生方がONE TEAMと感じていただけるようになることを願っています。</p>	<p>○若年層が増え校務分掌の配置には頭を悩ませている。できる限り年齢や経験等に偏りがないよう配置していきたいが、若年層に任さざるを得ないところもあるので、資料や今後の課題などを引き継げるようにしていきたい。 ○職場の雰囲気は改善されてきているが、さらに若年層が相談しやすいような風通しの良い環境づくりを進めていきたい。 ○得意な分野で実力が発揮できるよう管理職との面接を充実させ、適正と能力を勘案しながら組織作りを行っていきたい。</p>
		<p>5 職員は学校教育目標や重点目標の意義を理解し、その実現に向け協同して教育を実践していた。</p>	<p>職員の91%が肯定的な評価である。昨年度より5ポイント上昇している。概ね良好であった。</p>			
		<p>6 校務分掌組織の形態は、本校の実情に即し機能的なものになっていた。</p>	<p>職員の肯定的な評価は95%で、昨年度より9ポイント上昇している。担当任せのところがあったと個人の反省があったが、概ね良好であった。</p>			
		<p>7 職員の各組織への配置は、人数や構成メンバーの年齢・経験・特性などからみて適切であった。</p>	<p>職員の81%が肯定的な評価。昨年度より4ポイント下がっている。代替教員が来ず、人手不足の面があった。</p>			

学年学級経営	<p>・学年、学級経営を充実させ、計画的な学級活動を通して、個及び集団を育て正義が通る学級づくりを進める。</p>	<p>8 学年内の分掌や組織をとおして、各自がリーダーシップを発揮し、スムーズな学年運営が進められていた。</p>	<p>職員の91%が肯定的な評価で、昨年度より2ポイント下がったが、高い評価を維持できた。初若年層が多いので、今後も育成に努めていく必要がある。</p>	<p>・どの学年も主任を中心にまとまりのある経営がなされた。</p> <p>○朝の打ち合わせを週2日とし、日報をやめ週報のみとするなど、業務の負担軽減に努めた。一方で情報共有はもっと互いが意識していく必要があると感じた。</p> <p>・清掃活動は学校教育目標の具体的な取組にも掲げており、取組を向上させていきたい。</p>	<p>○情報共有の認識力アップ。教育目標にもからむが清掃は大事。社会に出ても5Sが基本。(整理・整頓・清潔・清掃・安全)</p> <p>○学級の時間がなかなか取りづらい中ですが、行事の実施により仲を深められて良かったと思います。</p> <p>○学年、学級の連携をとり、特定の人だけでなく若い先生方との連携がとれるよう話し合いを重ねてほしいと思います。</p> <p>○教職員のアンケート結果によると、昨年に比べてC・D(要改善)の意見が多くなっている。コロナの影響が大きく現れていると感じている先生が増えているのだと思います。コロナ禍が継続する中で、様々な対策を講じられているとは思いますが、現実問題として改善が急がれる課題に優先順位をつけ、一つ一つ確実に進めて欲しいと願います。</p> <p>○コロナ環境下にあつての先生方の努力が感じられ感謝いたします。しかし運営にあつた方向づけ、主旨の徹底や連絡の不足が見られる。</p>	<p>○ミドルリーダーを担う年齢層が少ないので、若年層の育成を進めていくとともに、OJTによってベテランから若年層に仕事を引き継いでいけるよう、スキルアップを図ってきたい。</p> <p>○ミドルリーダーへのサポートや若年層教員の報告・連絡・相談がしやすい環境づくりに努めていくとともに、OJTによってベテランからミドルリーダーや若年層に仕事を引き継いでいけるよう、スキルアップを図ってきたい。</p> <p>○若年層研修を計画的に実施していく。</p>
	<p>9 学年保護者会、学級懇談会、保護者面談等の計画及び運営は適切であった。</p>	<p>職員の83%が肯定的な評価で、昨年度より11ポイント下がっている。コロナ禍の中での授業参観や保護者会の開催についてさらに工夫していきたい。</p>				
	<p>10 学級の学習環境・生活環境は適切であり、生徒の成長を促すものであった。</p>	<p>職員の83%が肯定的な評価で、昨年度より8ポイント下がっている。清掃カットが続くと教室が乱雑になるとの意見があった。</p>				
	<p>11 学級活動を活性化させ、生徒自らがより良い学級・学校づくりに向け、諸問題の解決に努める態度を養うことができた。</p>	<p>職員の88%が肯定的な評価で、昨年度より7ポイント下がっている。コロナの影響で学級の時間がなかなか取りづらいが、行事の実施で親睦を深められたとの意見があった。</p>				

教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善に努め、基礎的・基本的事項の徹底と個に応じた指導及び知識・技能の活用を図る単元開発を通じて、学力の向上を図る。</li> <li>・自主的な学習習慣と態度の育成を図る。</li> </ul>	<p>12 教育課程(各教科道徳特活行事等)は全体的な調和のもとに編成されていた。</p>	<p>職員の91%が肯定的な評価で、昨年度より13ポイント下がっている。コロナ対応で行事との調和とりづらかったり、日課変更に戸惑ったりする部分があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師にとって一番大切な教科指導力を向上させるため、教科部会の充実を図るとともに、有意義な授業研究や検討会を継続していきたい。</li> <li>・新学習指導要領移行に伴い、外部講師を招聘しての研修会を実施した。評価についても各教科部会で検討を重ねてきたが、3観点の評価方法については、まだ検討の余地がある。ICTを活用した指導方法の工夫についても研修や検討を進めていきたい。</li> </ul> <p>○コロナ禍での対応、大変苦勞されていると思います。10月、11月行事については、検討の余地がありそうです。</p> <p>○教科書が変わったこともあり、先生方がご苦勞されたことと思います。コロナ禍の中で10・11月が行事続きだったのも今年度は仕方ないと感じます。</p> <p>○コロナ禍においては、授業確保と行事開催が難しかったと思います。先生方のご苦勞が伺えます。</p> <p>○進め方に対し不満を具体的に表現している意見が目立つ。改善すべき問題が多く存在すると思えるので一層の努力をお願いしたい。</p>	<p>○引き続き学習指導を充実させていきたい。教科部会を中心に指導方法の工夫や新学習指導要領の観点に則した教材研究や評価材料を検討し、研鑽を積んでいく必要がある。</p> <p>○定期テスト前の「質問会」の取り組みを継続し、さらに基礎的な知識が習得できるよう検討していきたい。</p> <p>○行事については生徒の充実感や達成感を確保しながら、精選についても考えていく必要がある。また、今後もコロナ禍が続くことを前提とした計画を立案し、代替案も予め検討しておく必要がある。</p>
	<p>13 教科の年間指導計画や学習指導案は改善され、より適切なものとなった。</p>	<p>職員の肯定的な評価は87%で、昨年度より4ポイント下がっている。指導案についての研修や検討会の持ち方について課題があがった。</p>			
	<p>14 学校行事の種類・内容・実施時期・規模等は適切であった。</p>	<p>職員の肯定的な評価は70%で、昨年度より9ポイント下がっている。コロナ禍による延期で日程が集中し、工夫や実施の見極め等、もっと意見交換をする必要があるとの意見があった。</p>			
	<p>15 「わかる授業」を展開するとともに、試験前質問会をとおして、基礎学力の定着に努めた。</p>	<p>職員の肯定的な評価は80%で、昨年度より9ポイント下がっている。定期テスト前の「質問会」をだけでなく、計画的な取組が必要との意見があった。</p>			
	<p>16 授業において、知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力をのばす工夫をした。</p>	<p>職員の肯定的な評価は95%で、昨年度より7ポイント上昇している。コロナ禍でできることを工夫し、試行錯誤しながらノウハウを構築しつつある。</p>			
	<p>17 目標準拠の評価について十分理解し実践するとともに、自己評価や相互評価を取り入れ、指導と評価の一体化に努めた。</p>	<p>職員の肯定的な評価が85%で、昨年度より4ポイント下がっている。新学習指導要領への移行に伴い、第3観点についての評価材料を研究する必要がある。</p>			

生徒指導・道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導体制を確立し、共通理解を元に組織で行動できる教師集団を目指す。</li> <li>・基本的な生活習慣と望ましい生活態度の形成を図る。</li> <li>・「目指す生徒像」を通し生徒とともに創りあげる学校を目指す。</li> <li>・教師と生徒、生徒同士など語り合いを通して、信頼できる人間関係の構築に努める。</li> <li>・道徳の授業の確保に努め、意図的、計画的な実践を通して生徒一人一人の道徳的実践力を高める。</li> </ul>	18 教育活動全般をとおして、基本的な生活習慣を身につけさせることができた	職員の88%が肯定的な評価で、昨年度より10ポイント下がっている。服装や時間について共通認識を図っていききたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に「情報モラル集会」を行い、「いじめNO宣言」に繋げていけるよう試みた。</li> <li>・「いじめ」については、早期発見・早期対応・早期解決できるように「報告・連絡・相談」を徹底するよう、若年層を中心に声かけを行った。</li> <li>・「右側通行・右側歩行」の呼びかけを行い、定着を図った。</li> <li>・道徳の授業において、若年層が先輩教員の授業を見られる機会があるとよかった。お互いに授業を参観し合える環境をつくっていききたい。学年内でのローテーション道徳を実践した。</li> <li>・「いじめNO宣言」とコラボした授業についての教材研究を進めていききたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ルール変更時は、何故、どういう理由で変更するのか、きちんと説明する必要があると思われる。周知徹底。</li> <li>○夏季のジャージ着用の登校はとても良かった、と保護者の意見がありました。今後も続けていただきたいと思えます。</li> <li>○道徳の時間がカットされたようですが、清掃やいじめ問題など、先生と生徒の信頼関係を築くためにも道徳の授業も大切だと思います。</li> <li>○この事項に対しては意見も多く、先生方が特に熱心に取り組みされているように感ずる。一方、指導者間の連絡・連携を求める声もある。父兄の意見として服装・髪型に対する校則尽くめに対する意見があるが、この分野では適切な指導の下での「生徒に決める、決めたら従う」の自立教育など出来るのではないだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「習志野台中学校のきまり」関連は、引き続きコロナ禍を踏まえ弾力性を持って対応していく。また、できるだけ意見を吸い上げ、職員間で共通理解を図っていききたい。</li> <li>○生徒指導については、学年職員や生徒指導主事も連携しながら、解決へ向けた取り組みができるようにしていきたい。</li> <li>○夏季はマスクを着用しているため、熱中症対策としてジャージ登校等は認め、衣替えの移行期間も検討していきたい。</li> <li>○道徳を振り替えた場合は、その週か翌週までにその分の時間を確保して年間35時間を維持する。</li> <li>○考え、議論する道徳を実践していく。</li> </ul>
		19 担任一人任せにせず、職員の共通理解と相互協力のもとで、生徒指導を組織的にすすめることができた。	職員の98%が肯定的な評価で、昨年度より2ポイント上昇している。生徒指導主事を中心に学年体制で取り組むことができた。			
		20 生徒と教師間の「語り合い」や教育相談(教育相談週間・チャンス相談)等とおし、生徒理解を進めるとともに、好ましい信頼関係を築くことができた。	職員の肯定的な評価は91%で、昨年度より2ポイント下がっているが、コロナ禍の中高い評価を維持できた。			
		21 いじめアンケート等も活用しながら、生徒の人間関係にアンテナを高くし、いじめの「早期発見・早期対応」及び「再発防止」に努めた。	職員の肯定的な評価が96%という高い評価で、昨年度より4ポイント下がってはいるが、A評価については3ポイント上昇している。			
		22 道徳の授業を計画的に実施するとともに、教育活動全体をとおして生徒の「豊かな心」の育成に努めた。	職員の肯定的な評価が90%という高い評価であったが、昨年度より7ポイント下がっている。道徳の授業研究にもよく取り組んだが、日課変更による道徳の授業数の確保が難しい面があった。			

特別活動等	<p>・各活動において、生徒の自発的な活動を展開し、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする態度を育み、生徒の可能性を信じ、社会的自立に向け志を立てて自ら努力するように導き、支えることを目指す。</p>	<p>23 生徒会活動(全校評議会、生徒会行事、専門委員会等)は適切に実施された。</p>	<p>職員の肯定的な評価が95%という高い評価で、昨年度よりは5ポイント下がっている。オンラインのノウハウは定着してきたが、生徒の活動に課題が残った。</p>	<p>・生徒の自主性を重んじながら、来年度も活動していきたい。 ・地域性の部分で基盤はできているが、もっと伸ばさせることができるよう、計画を立てて物事を進めていきたい。</p>	<p>○生徒が自主的に動き、考え、生徒会活動が活発なのは良いと思う。他委員会活動にも広げて欲しい。 ○若年層の先生が多いため研修をして運営について学ぶ機会が必要、そして変更が多くて休日に身体を休めることが出来なかった、意見がありました。来年度はこの反省点を生かせることを望みます。 ○生徒会活動が活発に行われている。自主性を持った活動ができて、生徒のたちの連帯感や責任感が育つといい。 ○活動の成果が稔っていると先生方は判断されておられるが、一方で更に推進すべく多くの提案もなされている。しかしこの事項については十分な力が注がれていると感じる。十分な時間も得られぬ中でのご努力に感謝する。 ○PTAから色々無理なお願いをすることが多く、申し訳なかったと反省しております。</p>	<p>○生徒会行事はzoomからmeetに移行した。コロナの状況に対応できるスタイルを継続する。 ○生徒会活動では、引き続きリーダーの育成を図り、教師は準備やリハーサルにおいて指導し、本番は生徒たちで作り上げていく行事を実感させたい。 ○部活動はコロナ禍で制限されることも多かったが、生徒の成長にも大きく影響を与えるので、活動内容を少しでも充実できるようにしていきたい。</p>
		<p>24 生徒が役割と責任を自覚し自立した集団作りができるよう促すことができた。</p>	<p>職員の肯定的な評価が90%という高い評価であったが、昨年度より8ポイント下がっている。さらに、教師主導で行事を回さなくてもすむようにしたいとの意見があった。</p>			
		<p>25 部活動は計画的な運営により自主性を促し、生徒の責任感や連帯感を養うことができた。</p>	<p>職員の肯定的な評価が91%で、昨年度より2ポイント下がっている。コロナ禍で活動を自粛せざるを得ないところがあった。文化部の増設を要望する意見があった。</p>			

健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害への日常の備えや的確な避難行動ができるようにし、防災意識の高揚を図る。</li> <li>・栄養指導を充実し、体力の向上と健康の増進を図る。</li> </ul>	26 危機管理マニュアルに基づき、安全(交通安全・生活安全・災害安全)に関する指導が計画的に行われていた。	職員の肯定的な評価が93%で、昨年度より7ポイント下がってはいるが、高い評価を維持できた。マニュアルの見直しも進めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が避難所になることも想定して、具体的な対応について「危機管理マニュアル」の見直ししていきたい。</li> <li>・年度はじめに食物アレルギー対応の保護者面談を実施し、その把握と適切な対応に努める。</li> <li>・コロナ禍で限定的ではあったが、ランチルームの使用を実施することができた。</li> <li>・今後も感染症予防に留意していくとともに、経験をもとに工夫した取組を行ってきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難訓練は、何が起きたか(地震・火災)をきちんと設定周知し、各自の机から最終避難まで、手順を追って体験しておいた方が良いと思います。</li> <li>○コロナ禍での食育が難しい中で、クラスごとにランチルームが使えるようになって楽しめたとのことで良かったと思います。</li> <li>○危機管理マニュアルに基づき、安全指導を計画的にできると良い。学校給食と保健計画で生徒の健康が守られていることは評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校が避難所となることも想定して「危機管理マニュアル」を見直していく。自治会にも防災倉庫について知ってもらおう。</li> <li>○引き続き新型コロナウイルス感染症予防に努め、経験をもとに工夫した取組を行っていきたい。</li> </ul>	
		27 学校の給食計画に基づき、給食指導と食育が適切に行われた。	職員の肯定的な評価が90%で、昨年度より6ポイント下がっている。引き続き、弁当給食であったが、ランチルーム給食のメニューを少しでも体験できるようローテーションを組んで実施した。安心安全な給食を実施することができた。				
		28 学校の保健計画に基づき、生徒の健康指導と管理が適切に行われていた。	職員の肯定的な評価が95%で、昨年度より5ポイント下がってはいるが、A評価は13ポイント上昇しており、高い評価を維持できた。				
生徒支援・特別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーターの役割を明確にして、校内委員会の機能を生かし関係機関と連携した総合的な支援体制の整備を推進する。</li> </ul>	29 生徒支援・特別支援について、学校として適切な指導体制を構築することができた。	職員の肯定的な評価が93%で、昨年度と同様であったが、A評価は14ポイント上昇しており、支援室の様子がよくわかるよう細かな情報共有がなされていたとの意見があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする生徒の調査を行い、その生徒に必要な手立てを見つけていきたい。</li> <li>・情報交換を充実し、コーディネーターによる研修等を企画していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別な支援があるので、難しいとは思いますが、通常学級の生徒との交流を進め、人としてのやさしさを学んで欲しいと思います。</li> <li>○支援室担当の先生のおかげで、支援室の様子が良くわかるような細かな情報共有がされたので大変感謝いたします。</li> <li>○生徒支援、特別支援の適切な指導ができていないように思う。職員の支援のための共通認識を高めてほしい。</li> <li>○父兄もこの面に対する関心が高い。また父兄からの手厚い支援に対する感謝の言葉もある。特別支援活動に対する意識は高いと感じる。長欠生徒に対する指導に一層の力を入れて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4月当初に支援室や合理的配慮が必要な生徒について、全体で共通理解を図る場を設ける必要がある。</li> <li>○問題行動や不登校とは別に、各学年に特別支援担当を置いてコーディネーターや情緒学級担任と連携して、その生徒に必要な手立てを探っていく。また、コーディネーターによる研修等も企画していきたい。</li> </ul>	
		30 各職員が、特別な支援を必要とする生徒を理解し対応することができた。	職員の肯定的な評価が91%で、昨年度より9ポイント上昇している。さらに、教員一人一人の特別支援への意識を高めていきたい。				
		31 長欠傾向の生徒に対する指導は十分であった。	職員の肯定的な評価が88%で、昨年度より6ポイント上昇している。支援室担当の役割が大きかったとの意見があった。				

施設設備・情報管理	<p>・教育環境の整備・充実を図るとともに、情報セキュリティに留意する。</p>	<p>32 学校の施設・設備及び備品の管理は適切であった。</p>	<p>職員の肯定的な評価が81%で、昨年度より10ポイント下がっており、ICTに振り回されたとの意見があった。進路室にもエアコンを設置してほしい。</p>	<p>・要修理、修繕箇所については、施設課・学務課学校経理室等と協議し修繕を進めることができた。引き続き、連絡を取っていく。</p>	<p>○情報機器の管理は徹底して欲しいと思います。情報漏洩したら大変です。一人のルール違反でも大変なことになります。 ○父兄から学校からの連絡に要望が出ています。HP、メールの活用など工夫が必要かもしれません。 ○学校の正門、玄関、花壇等の草取りや整備の作業は、PTAのOBやおやじの会OB会で協力しますのでお声かけください。 ○適切であると感じる。</p>	<p>○修繕箇所の発見・報告・修繕依頼がスムーズに流れるようにしていく。 ○習台通信やホームページを活用し、学校の様子を多く発信していきたい。 ○ICTの活用も検討していきたい。 ○引き続き、個人情報の管理を徹底していくとともに、ICT活用に伴う問題点を把握し、解決策を考えていきたい。</p>
	<p>・地域社会、関係機関との連携を密に図り、相互の情報交換を通して、教育の醸成に努める。</p>	<p>33 情報セキュリティに配慮するとともに、個人情報等の管理は適切であった。</p>	<p>職員の肯定的な評価が96%で、昨年度より1ポイント上昇しており、高い評価を維持できたが、ICTの運用でまた課題も出てきた。</p>	<p>・PTAの多大なる協力で、体育祭後にバルーンリリースを行ったり、授業参観後にミニ縁日を開催したりした。また、池上彰氏による特別授業を実現させ、働くことへの生徒の興味関心を高めることができた。</p>	<p>○地域貢献活動を小さい所からでも工夫実施したら良いと思います。おやじの会OBも協力します。 ○創立55周年の年にあたり池上彰さんの講演会をされたようですね。学校評議員も拝聴したかったです。 ○保護者アンケートでは、PTAが活発であるとの意見が急速に増えており、大変うれしく思います。市内でも特に活動が目立っているPTAであり期待しています。</p>	<p>○コロナ禍でも実施できることを模索し、PTA会長と連携を密にして、学教行事など保護者の協力を仰いでいきたい。 ○コロナの影響で実施が見送られているが、コロナが収束したら、吹奏楽部など、地域活動への参加を進めていきたい。</p>
地域連携	<p>・地域社会、関係機関との連携を密に図り、相互の情報交換を通して、教育の醸成に努める。</p>	<p>34 本校におけるPTAの活動は適切であった。</p>	<p>職員の肯定的な評価が96%で、昨年度より2ポイント下がったが、A評価は1ポイント上昇し、高評価を維持できた。</p>	<p>・PTAの多大なる協力で、体育祭後にバルーンリリースを行ったり、授業参観後にミニ縁日を開催したりした。また、池上彰氏による特別授業を実現させ、働くことへの生徒の興味関心を高めることができた。</p>	<p>○地域貢献活動を小さい所からでも工夫実施したら良いと思います。おやじの会OBも協力します。 ○創立55周年の年にあたり池上彰さんの講演会をされたようですね。学校評議員も拝聴したかったです。 ○保護者アンケートでは、PTAが活発であるとの意見が急速に増えており、大変うれしく思います。市内でも特に活動が目立っているPTAであり期待しています。</p>	<p>○コロナ禍でも実施できることを模索し、PTA会長と連携を密にして、学教行事など保護者の協力を仰いでいきたい。 ○コロナの影響で実施が見送られているが、コロナが収束したら、吹奏楽部など、地域活動への参加を進めていきたい。</p>
	<p>・地域社会、関係機関との連携を密に図り、相互の情報交換を通して、教育の醸成に努める。</p>	<p>35 生徒の育成にあたり、保護者・地域の方との連携を図り、活動できた。</p>	<p>職員の肯定的な評価が91%で、昨年度より2ポイント下がってはいるが、A評価は10ポイント上昇した。地域貢献活動を増やしたいとの意見があった。</p>	<p>・PTAの多大なる協力で、体育祭後にバルーンリリースを行ったり、授業参観後にミニ縁日を開催したりした。また、池上彰氏による特別授業を実現させ、働くことへの生徒の興味関心を高めることができた。</p>	<p>○地域貢献活動を小さい所からでも工夫実施したら良いと思います。おやじの会OBも協力します。 ○創立55周年の年にあたり池上彰さんの講演会をされたようですね。学校評議員も拝聴したかったです。 ○保護者アンケートでは、PTAが活発であるとの意見が急速に増えており、大変うれしく思います。市内でも特に活動が目立っているPTAであり期待しています。</p>	<p>○コロナ禍でも実施できることを模索し、PTA会長と連携を密にして、学教行事など保護者の協力を仰いでいきたい。 ○コロナの影響で実施が見送られているが、コロナが収束したら、吹奏楽部など、地域活動への参加を進めていきたい。</p>

研究・研修	<p>・「生きる力をはぐくむ指導法の研究」として「知識・技能の活用」についての単元(題材)の工夫について、研究を進める。</p>	<p>36 教科部会や研究テーマに沿った研修会が計画的に実施され、授業研究を進めることができた。</p>	<p>職員の肯定的な評価が88%で、昨年度より1ポイント下がっている。今年度は教科書が変わったこともあり、さらなる研修が求められる。</p>	<p>・教科主任も若年層教員が務めている教科もあるため、横断的な研修の機会を設けていきたい。 ・新学習指導要領の3観点について、さらに研修を積み重ねていきたい。</p>	<p>○教科書が変わったこと。教職員で意見交換しながら進めていただけたらと思います。 ○研究・研修は必要だと思うが、研修会の内容などを見直し、先生方の納得のいくものにしてほしい。 ○研修活動は適切になされているが、更上一层楼を望む声もある。 ○既定路線のものや慣例化されているだけのものは、目的や意義から考え直す必要もあるかもしれません。</p>	<p>○引き続き、オンラインやICTの活用について研修していく。次年度も「わかる授業」を目指して、研究主任、教務主任、教科部会が連携して計画的に研修を進めたい。 ○新学習指導要領の3観点到った教材研究や評価について研修していきたい。</p>
	<p>37 学校の直面する問題に適切に対応する研修会を実施することができた。</p>	<p>職員の肯定的な評価が91%で、昨年度より2ポイント上昇している。テーマを設定しもっと頻繁に行いたいとの意見があった。</p>				

<p>新型コロナウイルス感染症対策</p>	<p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う臨時休業や行事の変更に適切に対応し、熱中症防止に努める、</p>	<p>38 学校は、暑い時期の登下校時の服装について配慮することができた。</p>	<p>今年度新たに設定した項目で、職員の肯定的な評価が95%で、昨年度より5ポイント下がったが、保護者アンケートでも非常に好評だった。</p>	<p>・マスクの着用や手洗い、換気など、感染予防への意識を生徒に定着させることができた。 ・今年度も熱中症対策として、衣替え期間について柔軟に対応しジャージや体操服での登下校も可とした。</p>	<p>○大変苦勞されていると思います。服装についても臨機応変に、先生や生徒や保護者の意見を聞きながら対応していただけたらと思います。 ○夏の暑さ対策では、体操服登校を実施して体調管理に配慮されたり、いつも子ども達を気にかけていただきありがとうございます。 ○暑い時期の登下校時の服装について配慮できたことは評価できる。夏の暑さが厳くなるので臨機応変に対応してほしい。 ○コロナ対策の長期化により通常業務が逼迫しているように思えます。先生方のご苦勞に感謝申し上げます。 ○コロナ対応との関係については明らかではないが、登下校時の服装の改善が画期的になされたようである。 ○見えないものと戦うことほど難しいことはありません。先生方のご苦勞、ご尽力に感謝しありません。</p>	<p>○夏季はマスクを着用しているため、熱中症対策としてジャージ登校等は認め、衣替えの移行期間も検討していきたい。</p>
-----------------------	---	---	---	---	---	---